

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【公開番号】特開 2000-353120 (P2000-353120A)
【公開日】平成 12 年 12 月 19 日 (2000.12.19)
【出願番号】特願 2000-20137 (P2000-20137)
【国際特許分類】

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 12/00 5 4 5 A

G 0 6 F 12/00 5 2 0 J

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 29 日 (2007.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子的にアクセス可能なリソースの記述方法であって、

記述スキームを読み込むステップであって、前記記述スキームが、リソースに関する記述中に記述子要素の定義を含む宣言型記述定義言語を使用し、リソース属性をその属性を表す表現値と関連付けるように前記記述子要素の各々を定義し、少なくとも 1 つの前記記述子要素の定義が、リソースに関する記述中の関連する記述子要素のインスタンス生成を行うための処理用コードの参照を前記記述子要素の定義と関連付けるように成されるステップと、

前記処理用コードを実行することによって前記リソースに関する記述を生成するステップと、を有することを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記記述は、人間と機械の双方によって解釈することができることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記電子的にアクセス可能なリソースがデジタル・コンテンツから成るマルチメディア・アイテムであることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

前記電子的にアクセス可能なリソースがワールド・ワイド・ウェブで入手可能な電子文書またはリソースであることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

前記電子的にアクセス可能なリソースが電子装置であることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

前記記述子のインスタンス生成のための処理用コードが、関連する記述子ハンドラによって与えられることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】

前記記述子が前記処理用コードによってオプションとしてインスタンス生成されることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 8】

記述子要素のインスタンス生成のための前記処理用コードがデジタル信号処理技術を用いて前記電子的にアクセス可能なリソースを解釈することを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 9】

クロス・プラットフォーム計算言語を用いて前記記述子ハンドラが実行されることを特徴とする請求項 6 記載の方法。

【請求項 10】

記述子ハンドラによって所定のプログラミング用インターフェースが達成されることを特徴とする請求項 6 記載の方法。

【請求項 11】

所定のプログラミング用インターフェースが前記記述スキームで指定されることを特徴とする請求項 10 記載の方法。

【請求項 12】

所定のプログラミング用インターフェースが前記記述スキームで参照されることを特徴とする請求項 10 記載の方法。

【請求項 13】

前記記述子ハンドラがオブジェクト指向プログラミング言語によって定義されるクラスであることを特徴とする請求項 6 記載の方法。

【請求項 14】

前記関連する記述スキームと同じ記憶場所に記述子ハンドラが格納されることを特徴とする請求項 6 記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明によれば、電子的にアクセス可能なリソースについて記述する方法が提供される。前記方法は、記述スキームを読み込むステップであって、前記記述スキームが、リソースに関する記述中に記述子要素の定義を含む宣言型記述定義言語を使用し、リソース属性をその属性を表す表現値と関連付けるように前記記述子要素の各々を定義し、少なくとも 1 つの前記記述子要素の定義が、リソースに関する記述中の関連する記述子要素のインスタンス生成を行うための処理用コードの参照を前記記述子要素の定義と関連付けるように成されるステップと、前記処理用コードを実行することによって前記リソースに関する記述を生成するステップと、を有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 1
【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】削除

【補正の内容】